

第2期 高津区区民会議報告書



～アイデアを実行に！行動する高津区区民会議～



高津区

2010(平成22)年3月
高津区区民会議

はじめに

2008年7月に第2期区民会議がスタートし、2年間の活動期間を終えようとしています。20人の委員が試行錯誤しながらも、団体や地域の代表として、また一人の区民として、高津区をより良いまちにしたいという想いを抱き、課題解決に取り組んできました。本書はその2年間の活動を振り返り、取組内容を総括し、今後の展開の方向性についてまとめたものです。

第2期区民会議では、第1期区民会議の成果を踏まえ、引き続き「環境まちづくり」に取り組むとともに、新規課題として「地域防災とコミュニティ」を取り上げ、合計8回の全体会議、現地調査、学習会などの調査審議活動を実施してきました。

2期目は第1期区民会議の反省点を活かし、企画運営会議を新たに設置し、事前の議事調整や議論の整理を行い、審議の効率化を図りました。前期と変わらず、専門部会を設置せずに20人の委員全員による審議を重視するスタイルは、高津区区民会議の一つの特色と言えます。

また、区民会議は「区民の参加と協働による地域課題の解決手法について調査審議する」ことを第一義的な役割としています。高津区では、調査審議の成果を具体的な解決策として実現していくことが重要であるという認識から、「アイデアを実行に！行動する高津区区民会議」というフレーズで表現されるように、現地調査を行いながら議論を行い、実現可能と思われる解決策については、区民会議が主体となり実施するよう努めてきました。

これらの取組は、もちろん区民会議の力だけではなく、町内会・自治会をはじめとする地域住民の方々や関係団体との連携により形となったものです。これらの取組を通じて、より良い地域社会を形成するためには、人と人、団体同士がつながることが大きな力となることを改めて実感しております。

今後、区民会議の取組を通じて地域課題の解決をするには、まずは区民会議の取組を区民の皆さんに知っていただき、様々な立場から課題解決に向けて参加、協働していただくことが大切だと思いますが、残念ながら区民会議自体の認知度はまだまだ高いとは言えません。この報告書をもとに、区民会議の1年間の活動を知っていただくとともに、川崎市市長及び高津区長におかれましては、自治基本条例の趣旨を踏まえて、審議結果を尊重していただき、暮らしやすい地域社会の形成と市政への反映に努めていただくよう期待します。そして、我々高津区民も、高津区がより良いまちとなるよう、尽力したいと思います。

2010（平成22）年3月

第2期高津区区民会議委員長 吉崎 隆男

目次

はじめに

I	第2期高津区区民会議について	3
	1 区民会議の目的	
	2 区民会議における課題解決までの流れ	
	3 第2期高津区区民会議の運営体制	
	4 審議の経過と各会議の概要	
II	課題の把握と選定	7
	1 高津区の課題	
	（1）区民と委員から寄せられた課題	
	（2）区民ニーズ調査に見る「まちの課題」	
	（3）調査活動・学習会	
	2 審議課題の選定	
	（1）課題選定までの経過	
	（2）各課題選定のねらいと論点	
III	各審議課題についての検討・取組の状況	17
	1 環境まちづくり	
	（1）第1期区民会議における審議と取組の状況	
	（2）第2期における審議内容	
	（3）今後に向けた課題	
	2 地域防災とコミュニティ	
	（1）課題解決策のアイデア	
	（2）解決に向けた取組と成果	
	（3）これからの取組に向けて ～5つの提言～	
	3 第1期区民会議課題に対する取組	
IV	今後の展開に向けて	40
	1 課題の把握・選定について	
	2 取組の成果と今後の展開について	
	3 区民会議の運営方法と果たすべき役割について	
	4 2年間の活動を振り返って ～各委員からひとこと～	

資料編

1. 関係規定
2. 第2期高津区区民会議名簿
3. 区民会議フォーラム開催結果
4. 自主防災組織及び避難所運営会議に関するアンケート調査結果(抜粋)
5. かわさき市民アンケート結果(抜粋)
6. 高津区区民生活に関わるニーズ調査結果(抜粋)
7. 防災備蓄品に関する調査結果